

公 1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

ア 図書の選定

1. 学校図書館向き図書の選定……………【選定部】…(1)
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施する。「図書選定会議」は原則として毎月 2 回開催する。全国学校図書館協議会(以下、「全国 S L A」という)が委嘱する選定委員が学校図書館向き図書を「全国学校図書館協議会選定図書」として選定する。その結果は機関紙『学校図書館速報版』で随時発表する。

イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる調査を実施する。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる調査を実施する。
3. その他の調査・研究の実施……………【調査部】…(2)
文部科学省や学校図書館整備推進会議等が行う調査、研究に協力する。

ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)
機関誌『学校図書館』（月刊）および『学校図書館速報版』（月 2 回）を定期的に刊行する。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に掲載する。機関紙『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書、学校図書館メディアに関する情報等を中心に掲載する。

エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第 71 回・第 72 回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施する。
 - ①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」
全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、「第 72 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」を選定する。
2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことなどを目的とした「第 37 回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く 38 都道府県で実施する。
 - ①「読書感想画中央コンクール 指定図書」
全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第 38 回読書感想画中央コンクール 指定図書」を選定する。

オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「第 31 回日本絵本賞」を授賞する。
2. 「えほん 5 0」の選定……………【プロジェクト】…(1)
全国 S L A 絵本委員により、「2026 えほん 5 0」を選定する。
3. 「絵本週間」の実施……………【プロジェクト】…(1)

優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「第49回絵本週間」を実施する。

4. 「夏休みの本(緑陰図書)」の選定……………【プロジェクト】…(1)
全国SLAが委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちに読んでほしい図書として、「第59回夏休みの本(緑陰図書)」を選定する。

カ SLBAの図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会(SLBA)選定図書」……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下「SLBA」という)」の委嘱を受け、全国SLAの選定委員が「SLBA選定図書」を選定する。

キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館に関する運動、論文、実践の3分野での優れた実績を示した個人および団体に対し顕彰を行う。「第56回学校図書館賞」の授賞を行う。
2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館向き図書の出版を充実させることを目的に、優良な出版企画に対して出版社を表彰する。「第28回学校図書館出版賞」の授賞を行う。

公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

《1. 研究・研修》

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の研究……………【研究調査部】…(1)
司書教諭や学校司書等を対象とした「学校図書館実践講座」、指導主事を対象とした「指導主事研修会」を開催するほか、学校図書館の活用による授業実践報告を顕彰する「第6回情報活用授業コンクール」を開催する。
2. 「学校図書館セミナー」の開催……………【研究調査部】…(2)
図書館総合展の主催・共催フォーラムとして、学校図書館に関するセミナーを開催する。
3. 学校司書の資質向上を図るための研修の実施……………【プロジェクト】…(2)
学校司書の資質の向上を図るために「学校司書研修講座」を開催する。
- ☆ 4. 「地区学校図書館研究大会」の開催……………【プロジェクト】…(2)
隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の9地区で開催する。

第46回	北海道学校図書館研究大会	10月	24日	・	10月	25日	北海道帯広市
第42回	東北地区学校図書館研究大会	11月	13日	・	11月	14日	青森市
第38回	関東地区学校図書館研究大会	8月	7日	・	8月	8日	甲府市
第33回	北信越地区学校図書館研究大会	11月	7日	・	11月	8日	長野県佐久市
第42回	東海地区学校図書館研究大会	8月	6日	・	8月	7日	静岡市
第49回	近畿学校図書館研究大会	8月	7日	・	8月	8日	滋賀県近江八幡市
第34回	中国地区学校図書館研究大会	10月	16日	・	10月	17日	鳥取市
第32回	四国地区学校図書館研究大会	11月	27日	・	11月	28日	愛媛県伊予市
第42回	九州地区学校図書館研究大会	10月	2日	・	10月	3日	佐賀市

《2. 資料・情報提供》

1. 写真ニュース『としょかん通信』の発行……………【編集部】…(5)
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』(小学生版・中高生版の2種)を発行する。
2. 各県SLAのWebサイト作成……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等の利用に供する。

3. 各県SLA・各地区SLAへの訪問の実施……………【プロジェクト】…(3)
組織訪問を通して、都道府県の現状を把握し改善のための支援策を講じる。
4. 各県SLA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)
刊行物の監修・作成協力等により内容の充実と刊行物の普及に努める。
5. Webサイト・メールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(5)
各県SLAおよび会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンによる情報発信を活用する。
6. 啓発図書の刊行……………【編集部】…(5)
 - ① 『その蔵書、使えますか』改訂版の刊行・普及。
シリーズはじめよう学校図書館第3巻『その蔵書、使えますか』を改訂して刊行・普及する。
 - ② 『気になる著作権Q&A』改訂版の刊行・普及。
学校図書館入門シリーズ第8巻『気になる著作権Q&A』増補改訂版を改訂、刊行・普及する。
 - ③ 『学校図書館基本資料集』改訂版の改訂
『学校図書館基本資料集』改訂版を改訂し、『学校図書館基本資料集』三訂版(仮)を刊行する。

《3. 学校図書館の充実発展》

1. 学校図書館振興の政策提言の推進……………【プロジェクト】…(6)
第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」による予算化運動及び、高等学校の図書整備施策策定に向けて活動を展開する。
2. 基準類の検討及び改訂・普及……………【プロジェクト】…(6)
発表した基準類の見直し、検討を行い、改訂する。
3. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、各県SLA等の協力を得て、機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行う。
4. 各県SLA事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県SLA事務局長会議を開催する。
5. 全国SLA学校図書館スーパーバイザーの委嘱……………【プロジェクト】…(3)
各地域や各校の学校図書館の活性化を図るため、引き続き学校図書館スーパーバイザーを委嘱する。
6. 各県SLAへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)
各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行う。

《4. 研究視察》

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)
国内・海外学校図書館研究視察開催を検討する。

《5. 事業の活性化》

1. 公益社団法人の財政再建……………【プロジェクト】…(6)
新事業の展開と赤字事業の削減等により、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進める。
2. 学校図書館報告会の開催……………【プロジェクト】…(6)
特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する報告会を開催する。